

公共交通利用転換事業計画の総括

I 計画の概要

基本的な計画の方向性

- 公共交通や自転車・徒歩への転換（モーダルシフト）とまちづくりを一体的に進めた自立した持続可能な地域づくりへの寄与

目指すべき地域の将来像

- 新技術の積極的な導入による環境共生や省エネルギー等の先進的な低負荷型街づくり
- 高齢者等に配慮した優しい都市空間の形成

目指すべき交通体系の姿

- 総合交通体系の実現
- 通勤目的の交通の増加への対応と質の向上
- 企業活動の移動や今後の高齢者社会に対応した移動環境の実現
- 地域が有する先端技術を活用した交通環境の導入
- 環境に配慮した新たなライフスタイルの実現

重点施策

- ①基幹公共交通による都市軸の形成
- ②基幹公共交通を補完し地域の毛細血管となる地域内ネットワークの構築
- ③公共交通の利用促進に資する交通結節点の強化
- ④ICTを活用した地域情報システムの導入

II 事業実施状況と効果検証

(1) 事業実施状況

「基幹公共交通と地域内ネットワークシステムによる交通システム」の実現に向けた事業を計画及び実施しました。未実施の事業については、整備・導入手法も含めて、今後も検討を続けます。

施策・事業		実施状況	
①基幹公共交通による都市軸の形成	I. 基幹公共交通の導入	連節バスの導入	○
		連節バス整備工場の整備	○
	府・町道バス停改良等基盤整備	○	
	PTPSの導入	未実施	
②基幹公共交通を補完し地域の毛細血管となる地域内ネットワークの構築	II. 学研地域と京都を直接結ぶ公共交通の導入	高速バスの導入	○
	カーシェアの導入	未実施	
③公共交通の利用促進に資する交通結節点の強化	祝園駅前広場を一般車両等の流入規制	祝園駅前広場の一般車両等の流入規制	○
		高機能バスステーションの整備	○
		高機能バス停の設置	○
④ICTを活用した地域情報システムの導入	バスロケーションシステムの導入	バスロケーションシステムの導入	○
		スマートライトの導入	○

(2) 効果検証

自動車から公共交通等への転換により二酸化炭素排出の削減が図られる事業を評価対象とし、2018年度～2022年度の5年間で効果検証を行いました。

単位：tCO₂/年

評価対象	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	合計 (目標/達成率)	
A：自動車利用から公共交通へモーダルシフトすることによるCO ₂ 削減量	1：自動車から路線バスにモーダルシフトすることによるCO ₂ 削減量	231	1,554	1,913	2,105	2,137	7,940 (4,344 / 183%)
	2：連節バスの新規導入によるCO ₂ 排出量(増加量)	23	-23	-23	-23	-23	-69 (-186 / 37%)
	3：増加するバスを通常のバスから連節バスにすることによるCO ₂ 削減量(通常バスの減便)	0	0	0	14	32	46 (242 / 19%)
	4：需要の増加に伴う通常のバスの増便によるCO ₂ 排出量(増加量)	0	-30	-60	-60	-67	-217 (-27 / 804%)
B：カーシェア事業によるCO ₂ 削減量	1：学研立地研究機関・企業から会社関連企業・支店等への移動での削減量	0	0	0	142	192	334 (164 / 204%)
	2：地区内利用での削減量	0	0	0	2	24	26 (13 / 200%)
合計	254	1,501	1,830	2,180	2,295	8,060 (4551 / 177%)	

III 成果

- 連節バスの導入により、祝園駅前から精華・西木津地区までの中量輸送手段を確保
- 祝園駅前広場改良により、路線バスの定時性を確保
- 祝園駅やけいはんなプラザなどへのデジタルサイネージ設置により、公共交通利用者等への情報発信を強化



5年間で**8,060トン**のCO₂を削減



駅前広場改良前



駅前広場改良後

IV 総括と今後の方向性

- 5年間で目標値を上回る量のCO₂を削減できたことは一定評価できる。
- 本計画に設定した事業に加え、新規企業立地時にダイヤ調整を行うなど、バス事業者独自の取組等も目標達成要因のひとつとして挙げられる。
- 「公共交通への利用転換」という点については、計画策定時には想定していなかった新型コロナウイルスの影響が見られ、今後は新しい生活様式に対応した施策展開が各主体において期待される。
- 短期的に設定した事業は可能な範囲で各主体において実施され、CO₂目標削減量達成という一定の成果をあげており、今後は各実施主体において、施策の深度化を必要に応じて図っていくこととし、計画としては本総括をもって、ひとつの区切りとする。